



夢に生きたん

1・2年生用

Takeokadai High School
進路指導部 第 4 号
発行日 R4. 10. 6

今年度も3年生にとって大事な共通テストの出願時期が近づいてきました。今年度の出願期間は、令和4年9月26日(月)～令和4年10月6日(木)となっております。例年このあたりの時期に出願期間が設定されていますので、2年生は来年(1年生は2年後)のこの時期にしっかりと出願できるように、今回の進路だよりでは、大学入試共通テストについてLet's study!

日本最大規模の試験「共通テスト」

「大学入学共通テスト」は各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。2020年度入試までおよそ30年にわたり実施されてきた「大学入試センター試験」の後継にあたる試験で、2021年度入試から実施されました。センター試験と同様、毎年1月中旬の土・日曜の2日間に全国で一斉に実施される、日本最大規模の試験です。国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。

どうして共通テストになったの?～高大接続改革とその背景～

センター試験から共通テストへの移行に代表される「大学入試改革」は、国が進める「高大接続改革」のひとつです。国が改革を進める背景には、将来に対する強い危機感があります。社会は大きく変化しているなかで、自ら問題を発見し、他者と協力して解決していくための資質や能力を育む必要がある、というのが「高大接続改革」のベースになっています。「大学入試改革」では、これまで以上に多面的・総合的に能力を評価する入試への転換が掲げられ、学力の3要素と呼ばれる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を入試でバランスよく評価することが求められています。知識を前提にしながらも、活用する「思考力・判断力・表現力」を一層重視した評価にするため、共通テストでは、センター試験からの良間は引き継ぎつつも、試験の目的に沿って作問や出題形式が見直されました。

出題はマーク式、思考力・判断力を重視した作問の工夫がみられる

共通テストの解答方法は「マーク式」のみですが、思考力・判断力・表現力等を一層重視した評価ができるよう、作問や出題形式の工夫が見られます。全体的に知識や解法の暗記のみで解答できるような問題は減少し、より理解の質が問われ、「思考力」「判断力」を発揮して解くことが求められる問題が重視されています。また、グラフ・地図・文章など読み取る資料の分量が多いことが特徴で、授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見して解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する場面など、学習過程を意識した場面設定が教科・科目を問わず見られます。

出題科目は6教科30科目から選択

共通テストの出題科目は、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目で構成されます。この中から、最大9科目を受験できます。受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。それぞれの試験時間帯で受験できる科目は、地理歴史・公民と理科は最大3科目、そのほかの教科は1科目となっています。

※なお、2022年度高校1年生(現高校1年生)が受験する2025年度大学入学共通テストからは、新しい学習指導要領に対応した教科・科目で実施されます。(新課程については裏面参照!)

出願・受験時に気を付けたいこと

共通テストでどの科目を受験すればよいのか？これはみなさんが受験する大学によります。合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科（科目）は大学により異なるのです。受験に必要な教科数は、国公立大学では多くの大学が5教科以上、私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が一般的です。指定教科（科目）も、大学により異なりますが、理科や地理歴史・公民などは受験生の勉強科目に応じて受験できるよう複数科目から自由に選択できる場合が多くなっています。ただし、学部・学科の性質上、特定科目を必須とするケースも見られます。

特に注意が必要な理科の選択方法

理科についてはとくに注意が必要です。受験科目は共通テスト当日に問題を見てから決めることもできますが、A～Dのどのパターンで受験するかについては出願時に申請する必要があります。国公立大学の理系学部では、理科①を認める大学はほとんど見られませ

理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 から2科目選択 2科目で100点満点 試験時間は2科目で60分	8科目から下記のいずれかの選択方法により科目を選択解答する ・A理科①から2科目 ・B理科②から1科目 ・C理科①から2科目及び理科②から1科目（同一名称を含む科目の組合せも可） ・D理科②から2科目 <u>A～Dの選択方法は出願時に申請</u>
理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から選択 1科目あたり100点満点 1科目あたりの試験時間60分	

ん。また、理科を2科目必要とする大学も多いため、国公立大学の理系学部を志望するならDパターン、つまり理科②を2科目選択しておくべきでしょう。一方、国公立大学文系学部では、理科①2科目または理科②1科目で受験できる大学がほとんどです。私立大学に関してもやはり、理系は理科②、文系は理科①と考えておけばよいでしょう。

新課程入試について

2022年4月高校1年生から新学習指導要領がスタート

新課程に対応した2025年度入試では、大学入学共通テストの教科・科目の再編など、大掛かりな変更があります。2025年度からの新課程入試のポイントを確認しましょう。

2025年度入試はどう変わる？

共通テストの出題教科・科目は、7教科21科目へ再編

2025年1月に実施される共通テストでは、新教科「情報」を加えた7教科21科目へとスリム化・再編されます。「地理歴史」「公民」では出題科目が大きく再編されるほか、数学②では「数学Ⅱ、数学B、数学C」の1科目となります。試験は2日間で実施されますが、試験時間割は2024年6月に公表予定です。

ここに注目！各大学の予告内容2022年度中には公表される予定…

文部科学省は、各大学に対し2025年度入試に関する予告を早期に公表するよう要請しています。2022年度中には、各大学が2025年度入試の方向性を公表するものとみられ、内容が注目されます。志望大学の情報は、下記のポイントに着目して確認するようにしましょう。



共通テスト

- ・「情報」の取扱い？（必須？他教科との選択？）
- ・「地理歴史」「公民」の科目はどれでも選択可？



個別試験

- ・「数学C」の取扱い（文系学部）
- ・「国語」の出題範囲、「地理歴史」「公民」の出題科目・範囲は？
- ・民間の資格・検定試験の利用は？



主体性等の評価

- ・「調査書」の取扱い
- ・志願者本人が記載する資料（志望理由書等）の提出は？